



CSSテクニック

Blog デザインをスマートフォンにかっとばそう!

第3回 blockquote でオリジナリティーを出す

ブログの特徴はいくつかありますが、トラックバックを忘れてはいけません。気になる記事に対する意見や感想を自分のサイトで書き綴ることにより、ネットワークがどんどん広がっていくのもブログの楽しみの1つです。最近、トラックバックを使った企画モノもいくつか登場してきているので、トラックバックをする機会が増えてきたという人も多いのではないのでしょうか。トラックバックをして自分のサイトに書き込むときに必ずといっていいほど使うHTMLタグが「引用」を示すblockquoteです。今回は、blockquoteの部分をCSSでドレスアップしてみましょう。

by スタイルシート・スタイルブック

URL <http://www.stylesheet-stylebook.com/>

主宰者の執筆したCSSの書籍『スタイルシート・スタイルブック』翔泳社刊の発売と同時にオープンした、CSSをみんなで楽しく学べるコミュニティサイト。「CSSでもっと楽しくしてみよう」と集まったメンバーが初心者から上級者まで幅広い層に向けて、CSSに関するテクニックやQ&A情報などの記事をサイト上で書いています。そのメンバーが本誌面でCSSテクニックを解説します。



今月のイケてるCSSデザインサイト

カッコいいデザインをたくさん見てセンスや技を学ぶのが、デザインカアップの第一歩!

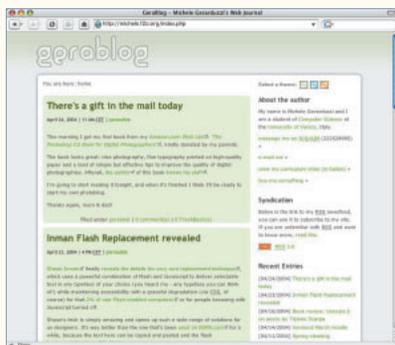
1

丸みを帯びたやわらかいデザイン

Gerablog

URL <http://michele.f2o.org/>

イタリアの学生 Michele Gerarduzziさんのブログサイト。CSSを多用していると、ついつい幾何学的なデザインになりがちですが、このサイトは丸みを帯びた画像とグラデーションを効果的に使うことによって、やわらかいデザインになっています。この連載の第1回でも紹介したミニアイコンもうまく使っていて、細かいところまで工夫が凝らされています。



全体のイメージを統一する色は、JavaScriptで切り替えられるようになっている。

2

クールなデザインがあなたのものに

Ms. Dicks

URL <http://ms-dicks.com/design/>

カナダ出身のデザイナーによるブログサイト。サイトデザイン自体もすてきですが、ここでは彼女が作ったテンプレートがたくさん掲載されていて、自由にダウンロードして使うことができます。どれもクオリティーが高くユニークなものばかりで、音楽や映画をテーマにしたデザインも多数用意されています。インスピレーションの元として参考にすることもよし、実際に使ってみるもよしでしょう。



更新はストップしたものの、大量のデザインテンプレートはそのまま使える。

イケイケデザイン&テクニック募集中

あなたのイケてるブログサイトやCSSテクニックを募集しています。「いいデザインができたかも」と思ったら、ガンガン応募してください。イケてるデザインやテクニックは、このコーナーで紹介します。みんなで参考にし合っておもしろいサイト作りましょう! 応募先: im-ikeike-css@impress.co.jp (スタイルシート・スタイルブックのサイトでも募集しているよ)

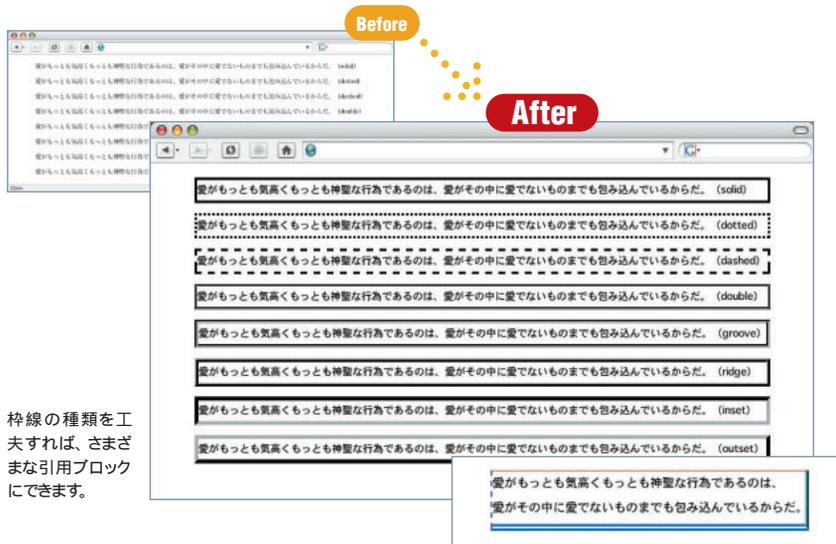


枠線の基本をマスターする

1

border プロパティによるさまざまなバリエーションの枠線

by 長谷川恭久



枠線の種類を工夫すれば、さまざまな引用ブロックにできます。

blockquoteは、他のサイトなどの情報源からの情報を「引用」の形で提示するために使うHTMLのタグです。サイトのオリジナルの情報と区別できるようにしておく、読者にとってもわかりやすくいいでしょう。そのために枠線を付けたり背景色を変えたりする方法がよく使われます。blockquoteに限らず、CSSで枠線を制御するborder プロパティは、レイアウトデザイン上の非常に大切な要素です。具体的なblockquoteのテクニックに入る前に、まずはCSSで枠線を引くノウハウをマスターしましょう。線の種類を中心に、CSSで使える枠線のバリエーションを紹介します。

C S S

```
/* 3pxの太さ、実線、黒色 */
border: 3px solid #000;
```

```
/* 3pxの太さ、点線、黒色 */
border: 3px dotted #000;
```

```
/* 3pxの太さ、破線、黒色 */
border: 3px dashed #000;
```

```
/* 3pxの太さ、二重線、黒色 */
border: 3px double #000;
```

```
/* 5pxの太さ、溝枠、黒色 */
border: 5px groove #000;
```

```
/* 5pxの太さ、盛り上がり枠、黒色 */
border: 5px ridge #000;
```

```
/* 5pxの太さ、盛り上がり、黒色 */
border: 5px inset #000;
```

```
/* 5pxの太さ、へこみ、黒色 */
border: 5px outset #000;
```

```
/* 上下左右に違う枠線を指定 */
border-left: 2px dashed #609;
border-right: 5px ridge #066;
border-top: 1px solid #930;
border-bottom: 8px double #03C;
```

C S S テクニクのキモ

枠線の設定の仕方はいくつかありますが、border プロパティに枠線の幅、スタイル、色の順番にスペースで区切って値を指定する方法が簡単でしょう。

```
border: 幅 種類 色;
```

枠線の幅は、「ピクセル(px)」で指定するのがわかりやすいでしょう。thin(細い)、medium(中間)、thick(太い)などの値やemなどの単位も使えますが、パーセント(%)で

の指定はサポートされていません。また、幅の値を入れないと線が現れない場合があるので注意しましょう。

枠線のスタイルは、例に示した8種類に加えて、非表示のnoneとhiddenが使えます。

色は通常のHTML用の色指定を使えます。

枠のスタイルに二重線の「double」を指定する場合は、2本の線とその間隔の合計を枠線の幅として設定しなければいけないことに注意してください。つまり、3ピクセル以上に設定しないと線が表示されない場合があるの

です。また、2つの線の間隔やそれぞれの線の太さは細かく指定できず、ブラウザによって表示が異なることも理解しておくといでしょう。

上下左右の枠線をすべて同じものにするのではなく、それぞれ異なった設定をすることも可能です。それぞれに異なる幅、スタイル、色を設定できるので、左側だけに枠線を引いたり、下側だけに枠線を引いたりすることで、単なる枠線ではないデザイン要素として使うこともできます。

文字列の左揃えを微調整する

2

:first-line疑似要素とtext-indentプロパティによる1行目の指定

by 長谷川恭久



1行目の引用符を段落の外に追い出すことで、文字の左端がきれいに揃って見えます。

新聞や雑誌では、文章の最初の1文字や1行目だけを装飾したり細かい文字揃えをしたりすることがありますが、CSSを使えばウェブページでも似たようなことを実現できます。引用文は「」などの引用符で囲んで示すことが多いので、最初の引用符だけを左端からはみ出させることで、引用の本文がきれいに揃って見えるようにしてみよう。

HTML

```
<blockquote><p>"考古学者は夫とするには最高です。なにしろ妻が古くなればなるほどますます関心を持ってくれますから。"</p></blockquote>
```

CSS

```
blockquote{  
  background-color: #efefef;  
  border-top: 1px solid #ccc;  
  border-bottom: 1px solid #ccc;  
  width: 300px;  
  padding: 20px;
```

```
}  
  
blockquote, blockquote p {  
  text-indent: -0.5em;  
}  
  
blockquote p:first-line {  
  font-size: 1.3em;  
  color: #309  
}
```

CSSテクニクのキモ

段落の1行目だけ、文字の大きさや色を変えるには、疑似要素の「:first-line」を対象のセレクターの後ろに続けて指定します。例では次のように指定しています。これは、blockquote要素の中にあるp要素の1行目に対する指定です。

```
blockquote p:first-line
```

:first-line疑似要素は「1行目」を指定するものなので、blockquoteや段落のようなブロック要素に対してしか使えません。長くて折り返されているからと言って、リンク(<a ~)

に対して「a:first-line」のように疑似要素を適用することはできません。

1行目の「」マークを左揃えよりもさらに左にはみ出させるには、「text-indent」プロパティを使って段落の左インデントを調整します。今回のように左にずらしたい場合は、負の値を記述します。

```
text-indent: -0.5em;
```

日本語の文章で段落の始めに1文字分だけ間隔を空ける(字下げする)ために全角空白を入れたりしますが、「text-indent」プロパティ

を使えばわざわざ入れる必要がありません。こちらも疑似要素と同様に、ブロックレベルに対してのみ使用できるので注意しましょう。

また、blockquoteタグの中にそのまま引用文を書くことがありますが、この書き方は本当は正しい書き方ではありません。本来は例のようにpやdivなどのブロック要素を入れてから文字を書かなければいけないことに注意してください。

```
<blockquote><p>引用文</p></blockquote>
```



blockquoteの背景を装飾する

3 グラデーションの背景画像と枠線の指定によるデザイン

by マクラケン直子



グラデーションの背景画像と枠線で、独特の引用ブロックになります。

blockquoteの背景には色を指定できるだけでなく、画像を表示させることも可能です。これを利用してアクセント的にちょっとした装飾を入れたり、サイト全体のデザインに引用部分の統一性を持たせたり、柔軟なアイデアによってさまざまな可能性が広がるはず。背景画像と枠線の装飾を付けてblockquoteをデザインしてみましょう。

HTML

```
<blockquote><p>人は海のようなものである。あるときは穏やかで友好的。<br />あるときはしつけて、悪意に満ちている。<br />ここで知っておかなければならないのは、<br />人間もほとんどが水で構成されているということです。</p></blockquote>
```

CSS

```
blockquote {
  width: 90%;
  padding: 0;
  margin: 0 0 0 30px;
}
```



```
background: url(bg.jpg) repeat-y
top left #FFF;
border-top: 1px solid #39C;
border-right: 4px solid #39C;
border-bottom: 1px solid #39C;
border-left: 4px solid #39C;
}

blockquote p {
  padding: 8px 10px;
  margin: 0;
}
```

CSSテクニックのキモ

枠線は左右をborder-rightとborder-leftで太く、上下をborder-topとborder-bottomで細く指定することで、デザイン的なアクセントを付けています。

背景のグラデーションは、backgroundプロパティを使って、背景画像、画像の繰り返し方向と初期位置、背景色を一度に定義しています。例では背景画像として幅400ピクセルのグラデーションのJPEGを配置して、縦方向に繰り返し表示させています。ウィンドウのサイズによっては横幅が400ピクセル以上に変化することもあります。したがって、背景画像の右端の色が#FFF(白)となるような画像

を用意して、画像の初期位置を左上に、背景色を#FFFにすることで、常に継ぎ目のない背景を保てるようにしています。横方向のグラデーションを使っているため、blockquote要素が縦に長くなっても大丈夫のようにrepeat-yを指定しています。repeat-xを指定すると、ウィンドウのサイズが大きくなるとグラデーションがおかしくなるので注意しましょう。

初期位置の指定にはキーワードを使いましたが、パーセント指定や他の長さの単位を使うこともできます。たとえば、初期位置を右下にしたいときには、次のようにします。

```
background { url(bg.jpg) 100% 100% }
```

パーセントや長さの単位を使うときは、先に書いたものから順に水平方向、垂直方向が指定されることを覚えておくといいいでしょう。値を1つだけ指定した場合は、水平方向の位置が指定されて、垂直方向は50%になります。背景画像を使って装飾をする際には引用文を読むのに邪魔にならないように気をつけなければなりません。位置や繰り返し方向などをコントロールして、効果的な表示方法を見つけてみましょう。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp